

# 昆虫類

## (1) 昆虫相の概要

長崎市の昆虫相の調査研究は出島にやってきた外国人、チュンベリー、シーボルト、シーボルトの助手であったビュルガーによって始まり、収集された標本は現在、オランダのライデン博物館に良好な状態で保存されている。日本人昆虫学者は、それらについて再調査を行い、昆虫リストを作られたが、そのほとんどの種類は、現在でも長崎市付近に生息している。

明治時代に日本に渡ってきた昆虫学者のルイス氏も、昆虫採集に長崎に入ってきていることから、長崎市付近産がタイプとなって命名された昆虫（特にコウ虫類）も多い。今回、レッドデータブック作成の基礎資料となった昆虫のデータは主に、長崎昆虫研究会（1951年創立）会員が60年かかって集めたものである。

長崎市の地形は低山地で、植物相は照葉樹林からなり、照葉樹林地域をすみかとする昆虫も多い。長崎市の周りは海に囲まれ、暖流の影響を受け、中でも長崎半島には鹿児島県と共通のサタサビカミキリ、マメクワガタも生息し、マメクワガタは男女群島にも共通して生息する。

中国原産のモンキタマムシは人為的に運ばれ、江戸時代に長崎に帰化した昆虫の例と考えられる。また、東南アジア原産のキマダラカメムシは現在、長崎市の街路樹に普通に生息しているが、これもオランダ船で長崎に運ばれて帰化したものである。

長崎半島は、日本を離れた南方から飛来する迷蝶が多いことでも知られており、毎年メスアカムラサキをはじめとする蝶類が多く採集されているが、これらは長崎では越冬できない。

以前から昆虫が多い所として知られていたのは金比羅山、岩屋山、稲佐岳、県民の森などであるが、近年は公園として使われているところや、人家やホテルが山すそを這い登り、自然林や草原は少なくなり、スミレを幼虫の食草とし、草原を代表するヒョウモンチョウ類やジャノメチョウが激減している。一方、ミズイロオナガシジミは近年増加し、市内の樹林でよくみかけるようになってきた。

市内には湿地や休耕田は少ないが、黒崎の永田湿地公園はネアカヨシヤンマ、マルタンヤンマ、コフキヒメイトトンボ、ヘイケボタルのよい生息地となっている。

## (2) 昆虫類リスト

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	アメンボ科	ウミアメンボ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	143
	カメムシ科	トビイロカメムシ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	143
	セミ科	ハルゼミ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	143
	コオイムシ科	コオイムシ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	143
	ガロアムシ科	イシイムシ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	144
	オオキノコムシ科	ハスジオオキノコムシ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	144
	カミキリムシ科	台湾メダカカミキリ	—	—	144
		ササビカミキリ	—	—	144
	コガネムシ科	ヤマトアオドウガネ	—	—	145
	コメツクムシ科	ハマベオオヒメサビキコリ	—	—	145
	シジミチョウ科	クロツバメシジミ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	145
		台湾ツバメシジミ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	145
	タテハチョウ科	ジャノメチョウ	—	—	146
		オオウラギンヒョウモン	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	146
	サナエトンボ科	オナガサナエ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	146
	トンボ科	ハッチョウトンボ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	146
	ヤンマ科	コシボソヤンマ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	147
サラサヤンマ		絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	147	
キリギリス科	ヒサゴクサキリ	—	—	147	
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	カミキリムシ科	クスベニカミキリ	準絶滅危惧 (NT)	—	147
	クワガタムシ科	マメクワガタ	—	—	148
	コガネムシ科	アオカナブン	—	—	148
		オオミツノエンマコガネ	—	—	148
		コカブトムシ	準絶滅危惧 (NT)	—	148
	ゴミムシダマシ科	ナガサキトグヒサゴゴミムシ ダマシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	149
	タマムシ科	アヤムナビロタマムシ	—	—	149
		ミスジツブタマムシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	149
		モンキタマムシ	—	—	149
	シジミチョウ科	ゴイシシジミ	—	—	150
		シルビアシジミ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	150
	シロチョウ科	ツマグロキチョウ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	150
	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	150
		ヒメキマダラセセリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	151
		ミヤマセセリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	151
	タテハチョウ科	ヒオドシチョウ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	151
	サナエトンボ科	オジロサナエ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	151
	トンボ科	チョウトンボ	準絶滅危惧 (NT)	—	152
	ヤンマ科	マルタンヤンマ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	152

## (2) 昆虫類リスト

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	カミキリムシ科	ブドウトラカミキリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	152
		ベーツヒラタカミキリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	152
		ヨツボシカミキリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	153
	クワガタムシ科	スジクワガタ	—	—	153
		ネプトクワガタ	—	—	153
	コガネムシ科	アカマダラコガネ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	153
		アカマダラセンチコガネ	準絶滅危惧 (NT)	—	154
		ムネアカセンチコガネ	—	—	154
	ゾウムシ科	ナガサキオチバゾウムシ	—	—	154
	タマムシ科	アオマダラタマムシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	154
		クロマダラタマムシ	—	—	155
	シジミチョウ科	コツバメ	準絶滅危惧 (NT)	—	155
	セセリチョウ科	コチャバナセセリ	—	—	155
		ダイミョウセセリ	—	—	155
	タテハチョウ科	コジャノメ	—	—	156
		ウラギンヒョウモン	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	156
		オオウラギンスジヒョウモン	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	156
		クモガタヒョウモン	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	156
		コムラサキ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	157
		ミドリヒョウモン	—	—	157
	イトトンボ科	コフキヒメイトトンボ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	157
	エソトンボ科	タカネトンボ	準絶滅危惧 (NT)	—	157
	オニヤンマ科	オニヤンマ	—	—	158
	カワトンボ科	ミヤマカワトンボ	—	—	158
	サナエトンボ科	コオニヤンマ	—	—	158
		ヒメクロサナエ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	158
	トンボ科	ナツアカネ	—	—	159
		ヒメアカネ	準絶滅危惧 (NT)	—	159
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	159
	ヤマトンボ科	コヤマトンボ	準絶滅危惧 (NT)	—	159
ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	160	
	ミルンヤンマ	—	—	160	

## (2) 昆虫類リスト

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
準絶滅危惧 (NT)	オサムシ科	エゾカタビロオサムシ	—	—	160
		マイマイカブリ	準絶滅危惧 (NT)	—	160
	カミキリムシ科	ベニハハナカミキリ	—	—	161
		トゲムネミヤマカミキリ	絶滅危惧 I A類 (CR)	—	161
	クチキムシ科	コナガキマワリ	—	—	161
	クワガタムシ科	チビクワガタ	—	—	161
		ヒラタクワガタ	—	—	162
	コガネムシ科	カブトムシ	—	—	162
	タマムシ科	ヤマトタマムシ	準絶滅危惧 (NT)	—	162
	ホタル科	ゲンジボタル	準絶滅危惧 (NT)	—	162
		ハイケボタル	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	163
	ゴキブリ科	マダラゴキブリ	—	—	163
	シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	163
	シロチョウ科	ツマキチョウ	—	—	163
	セセリチョウ科	ホソバセセリ	準絶滅危惧 (NT)	—	164
	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	164
		ウラナミジャノメ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 II 類 (VU)	164
		スミナガシ	準絶滅危惧 (NT)	—	164
		メスグロヒョウモン	準絶滅危惧 (NT)	—	165
	イトトンボ科	ベニイトトンボ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 II 類 (VU)	165
カワトンボ科	アサヒナカワトンボ	—	—	165	
トンボ科	マイコアカネ	準絶滅危惧 (NT)	—	165	
コオロギ科	ハマスズ	—	—	166	
情報不足 (DD)	コガネムシ科	シラホシハナムグリ	—	—	166
		シロスジコガネ	準絶滅危惧 (NT)	—	166
		チビカクマグソコガネ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	166

### (3) 昆虫類

#### ウミアメンボ (アメンボ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Halobates japonicus* Esaki

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 柿泊町  
県内 ; 西海市

##### 摘要

海に棲むアメンボで、川や池のアメンボとは異なる。長崎市では弁天白浜の岩場の岩と岩との間の波静かな海に生息する。生息地が護岸工事や埋め立てが行われると生息が危ぶまれる。県内では、近年記録がなかったが、最近になって西海市で、波の影響が少なく汚染があまり進んでいない清澄な水域で確認されている。



松尾 照男氏 写真提供

#### トビロカメムシ (カメムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

学名未定

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 四杖町  
県内 ; 長崎市のみ

##### 摘要

日本とフィリピンに分布し、日本では長崎市あぐりの丘にて3頭が採集されたが生活史などは不明である。未記載種の可能性もあるが、今後の解明が待たれる。

情報収集中

#### ハルゼミ (セミ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Terpnosia vacua* (Olivier)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ;  
県内 ; 大村市、諫早市、五島市、新上五島町など

##### 摘要

本州、四国、九州に分布し生活史は不明である。松林に生息するセミで、長崎市では松の減少とともに鳴き声もほとんど聞かなくなった。長崎市内では絶滅の危機に瀕する。



#### コオイムシ (コオイムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Appasus japonicus* (Vuillefroy)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)  
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

##### 分布

市内 ; 永田町、三重町、相川町、式見町、旧野母崎町  
県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、諫早市、雲仙市、南島原市など

##### 摘要

水田やため池などの静水に生息する。メスはオスの背の上に卵を産卵し、オスは卵を背負ったまま生活するのでこの名がついた。長崎市内では生息地の減少により、コオイムシも非常に少なくなっている。



松尾 照男氏 写真提供

**イシイムシ** (ガロアムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Galloisiana notabilis* Silvestri

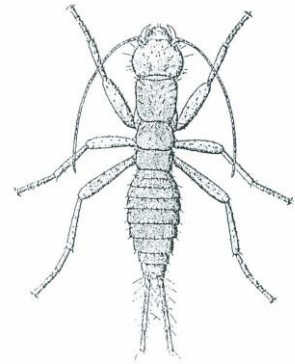
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)  
 環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**分布**

市内 ; 岩屋山  
 県内 ; 長与町

**摘要**

長崎市 (当時の道の尾) において、イタリア人昆虫学者シルベストリーによって幼虫が採集され、1927年に学名が命名されたが、その後はまったく採集されたことがない幻の昆虫である。翅はなく樹林内の落ち葉下や石の下に生息するものと推定される。



イシイムシ (Silvestri, F., 1927より)

**ハスジオオキノコムシ** (オオキノコムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Aulacochilus decoratus* Reitter

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 岩屋山、金比羅山、彦山  
 県内 ; 対馬市、諫早市、西海市

**摘要**

大陸系の昆虫で日本で長崎県本土と対馬市のみに分布する。菌類を食べて育つ。長崎市では岩屋山で採集されたことがある。



桃下 大 氏 写真提供

**台湾ンメダカカミキリ** (カミキリムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 愛宕町  
 県内 ; 対馬市、五島列島、平戸市、多良岳、島原半島

**摘要**

日本では長崎市愛宕町付近で夜間、トラップに1頭飛来し、その後は発見されていない。生態などは不明である。



松尾 照男氏 写真提供

**サタサビカミキリ** (カミキリムシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

*Neosybra mizoguchii* (Hayashi)

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧野母崎町  
 県内 ;

**摘要**

鹿児島県佐多岬と長崎県の旧野母崎町のみで記録がある。本県では1973年に報告され、野母崎で7月に得られた1例のみ。その後記録が途絶えており、絶滅が懸念されている。

情報収集中

### (3) 昆虫類

#### ヤマトアオドウガネ (コガネムシ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

*Anomala japonica japonica* Arrow

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 伊王島町、高島町、脇岬町  
県内 ; 佐世保市、小値賀町、新上五島町、五島市、島原市など

##### 摘要

長崎県では海岸に近い地域に生息。特に植物が繁茂した砂浜などで幼虫が育つため、内陸ではほとんど見ることがない。近似種のアオドウガネと同時に採れることがあるが、数は決して多くない。砂浜の保全が必要である。



深川 元太郎氏 写真提供

#### ハマベオオヒメサビキコリ (コメツキムシ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

*Agrypnus tsukamotoi tsukamotoi* (Kishii)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 戸町、旧野母崎町  
県内 ; 佐世保市、平戸市、対馬市、五島列島、島原半島

##### 摘要

海浜性の種で外海に面した小さな転石の海岸や砂礫海岸などの石の下で見ついている。後翅が退化しているので飛ぶことができないことから、海岸の埋め立てや護岸によって生息地が少なくなってきた。



松尾 照男氏 写真提供

#### クロツバメシジミ (シジミチョウ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

*Tongeia fischeri* Eversmann

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

##### 分布

市内 ; 福田一帯、式見町、小江町、三重町、神ノ島町  
県内 ; 対馬市、壱岐市、平戸市、五島列島など

##### 摘要

小形のチョウで幼虫の食草はマンネングサ類で岩場に生息する。岩場(崖)が崩されると、マンネングサ類とともにクロツバメシジミもいなくなる。



峰 正隆氏 写真提供

#### タイワンツバメシジミ (シジミチョウ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

*Everes lacturnus* Godart

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

##### 分布

市内 ; 風頭山、こしき岩など  
県内 ;

##### 摘要

小型のチョウで幼虫の食草はマメ科のシバハギである。成虫は8月下旬から9月上旬に1回出現する。道路の改修などでシバハギがなくなったり、周囲の樹木が成長してシバハギが日陰になるとタイワンツバメシジミもいなくなる。



峰 正隆氏 写真提供



**ジャノメチョウ** (タテハチョウ科) **絶滅危惧 I A類(CR)***Minois dryas* Scopoli

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 旧長崎市、旧野母崎町、県民の森  
 県内 ; 壱岐を除く県内各地

**摘要**

ススキ草原や牧草地周辺など明るい草原を好む。幼虫の食草は、ススキやイネ科などである。近年は、草原が管理がされなくなり、遷移が進むなどして、本種が好む生息環境が減少している。



峰 正隆氏 写真提供

**オオウラギンヒョウモン** (タテハチョウ科) **絶滅危惧 I A類(CR)***Fabriciana nerippe nerippe* (C. et R. Ferder)

長崎県カテゴリー	;	絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー	;	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**分布**

市内 ; 岩屋山、矢上普賢岳  
 県内 ; 佐世保市、東彼杵町、五家原岳、島原市など

**摘要**

各地に記録が残されているが、激減して久しく、最近ではほとんどその姿を見ることができない。幼虫の食草はスミレ類。市内では1970年代以降、記録はほとんどないようである。



峰 正隆氏 写真提供

**オナガサナエ** (サナエトンボ科) **絶滅危惧 I A類(CR)***Onythogomphus viridicostus* (Oguma)

長崎県カテゴリー	;	絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 多以良川、黒崎川、西海川  
 県内 ; 佐世保市、多良岳など

**摘要**

市内では、西彼杵半島の一部の河川中流部で幼虫が見つかった。成虫は、川の周辺にある枝や石の上に止まっていることを見かけることが多い。今後も新たな河川で見つかる可能性がある。



中田 昭義氏 写真提供

**ハッチョウトンボ** (トンボ科) **絶滅危惧 I A類(CR)***Nannophya pygmaea* Rambur

長崎県カテゴリー	;	絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 旧琴海町、旧外海町など  
 県内 ; 西彼杵半島、諫早市

**摘要**

体長2cmほどの可憐なトンボでミズゴケが生える休耕田湿地に生息する。県内でも希である。



中田 昭義氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### コシボソヤンマ (ヤンマ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

*Boyeria maclachlani* (Selys)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内各地  
県内 ; 対馬市、平戸市、佐世保市、雲仙市、西海市など

##### 摘要

丘陵地の木陰の多い流れに生息。市内では、各河川の上中流部に幼虫が見つかり、流水性のヤゴの中でも決して少ない部類ではない。



中田 昭義氏 写真提供

#### サラサヤンマ (ヤンマ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

*Oligoaeschna pryeri* (Martin)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ;  
県内 ; 松浦市、対馬市、東彼杵町、諫早市

##### 摘要

山間の古い池に生息。市内での生息地も局地的である。生息地の池沼だけでなく周囲の樹林地の保護も必要と思われる。



中田 昭義氏 写真提供

#### ヒサゴクサキリ (キリギリス科)

絶滅危惧 I A類(CR)

*Palaeoagraecia lutea* (Matsumura et Shiraki)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 稲佐山  
県内 ; 平戸市

##### 摘要

キリギリス科昆虫でメダケ群落に生息する。これまで長崎県内でも稲佐山山麓で発見されているのみであったが、最近平戸市でも見つかった。

情報収集中

#### クスベニカミキリ (カミキリムシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Pyrestes nipponicus* Hayashi

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 金比羅山、風頭山  
県内 ; 対馬市、多良岳

##### 摘要

7月にリョウブの花上にきている個体が確認されている。対馬と長崎市以外では採集されていない。寄主植物はクスノキやタブノキなどで、生木に侵入し、蛹になる前に枝を落下させることが知られている。市内では市街地周辺の低山地で確認されているが稀である。



深川 元太郎氏 写真提供

**マメクワガタ** (クワガタムシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Figulus punctatus* Waterhouse

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧野母崎町、愛宕山  
県内 ; 対馬市、五島列島、平戸市、雲仙市、男女群島

**摘要**

名のとおり1cm程にしかない。県内では暖流の影響が大きい海岸近くの雑木林で見ついている。シイ類やサクラなどの朽木内で過ごし、冬季でも成虫がみられる。市内では、最近でも旧野母崎町で確認されているが、希に採集される程度である。



松尾 照男氏 写真提供

**アオカナブン** (コガネムシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Rhomborrhina unicolor* Motschulsky

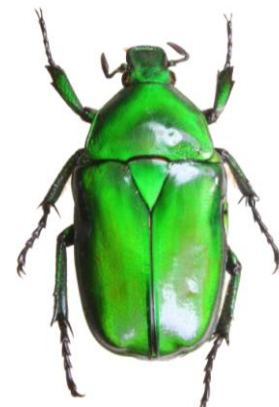
長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 県民の森、旧外海町、星取山、金比羅山  
県内 ; 対馬市、五島列島、平戸市、多良岳、島原半島

**摘要**

成虫は25mm前後になる。5~8月にクヌギなどの樹液に集まっているが、近縁種のカナブンに比べ少なく、山地で見つかることが多い。市内では低山地で見ついているが、最近では記録がほとんどない状況である。



松尾 照男氏 写真提供

**オオミツノエンマコガネ** (コガネムシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Onthophagus tricornis* (Wiedemann)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 金比羅山、白木町、千歳町、坂本町、牧島町、旧野母崎町など  
県内 ; 壱岐市、平戸市、多良岳、諫早市、島原半島など

**摘要**

別名ミツノエンマコガネ。成虫は15mm程になる。3~9月に主に魚介類の腐敗したものに集まるため、海岸近くや住宅地などで見つかる事が多い。市内では式見町で街頭に飛来した個体を拾ったりしたこともあるが、個体数は少ないようである。



桃下 大 氏 写真提供

**コカブトムシ** (コガネムシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Eophileurus chinensis chinensis* (Fieldermann)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 滑石、赤迫町、片淵、西山台、諏訪公園、式見町など  
県内 ; 対馬市、壱岐市、島原半島、諫早市、長与町、時津町

**摘要**

成虫は2cm程になる。6~10月に夜間に朽木や立ち枯れの樹幹で見つかる事がある。また、路上や側溝を歩行中のものを見かけることもある。市内では市街地近くでも見ついているものの、やや局地的である。



深川 元太郎氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### ナガサキケヒサコゴミシダマシ (ゴミシダマシ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Misolampidius calvicrus* (Marseul)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 稲佐山、旧外海町、旧琴海町、旧長崎市、旧野母崎町  
県内 ; 平戸市、佐世保市、大村市、諫早市、西海市など

##### 摘要

成虫の大きさは1cm程。標高が500mに満たないような低山の林内にある倒木や朽木の樹皮下で見つかる事が多い。長崎県と佐賀県の固有種で、市内でも各所で記録されており、観光地の道路脇などの意外な場所でも見つかる事がある。



深川 元太郎氏 写真提供

#### アヤムナビロタマムシ (タマムシ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Sambus quadricolor quadricolor* E.Saunders

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 金比羅山、風頭山、旧野母崎町  
県内 ; 平戸市、南島原市、対馬市

##### 摘要

成虫は5mm程になる。成虫・幼虫共にオオイタビやイチジクなどで見ついている。市内での記録は非常に少なく、今後新たな産地の発見に期待するとともに、生息環境の保全が必要と思われる。



松尾 照男氏 写真提供

#### ミスジツブタマムシ (タマムシ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Paratrachys hederae hederae* E.Saunders

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 風頭山、諏訪神社  
県内 ; 壱岐市、新上五島町、五島市、西海市、南島原市

##### 摘要

成虫は3~4mm程になる。3~6月に岩場や墓地などの石垣に生育するオオイタビやイタビカズラなどで見ついている。1980年代以降、記録がない状況が続いている。前述のような環境は、まだ市内各地に残っているので新たな産地が発見されることを期待したい。



松尾 照男氏 写真提供

#### モンキタマムシ (タマムシ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Ptosima chinensis* Marseul

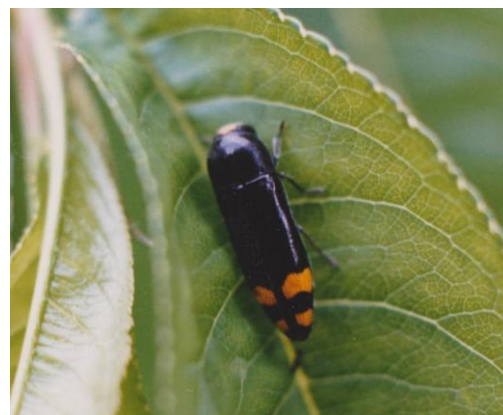
長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内各地  
県内 ; 時津町、長与町、諫早市

##### 摘要

成虫は1cm程になる。4月下旬から7月上旬に主に桃の木で見ついている。本種は、長崎、鹿児島及び東京と不連続分布している。県内では長崎市周辺のみ分布することなどから、中国大陸から古い時期に長崎へ帰化したものと推察されている。



野田 正美氏 写真提供

**ゴイシシジミ** (シジミチョウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Taraka hamada hamada* Druce

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 神浦ダム周辺、琴海戸根原町、旧野母崎町、金比羅山など  
県内 ; 長与町、佐世保市、諫早市、島原市など

**摘要**

メダケが生える群落に生息。幼虫はメダケの葉裏につくタケノア  
ブラムシなどを食う。最近、メダケなどは今でも各地に生育して  
いるが、メダケ類の群落内に本種を見かけるのは少なくなっている。



峰 正隆氏 写真提供

**シルビアシジミ** (シジミチョウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Zizina otis* Fabricius

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**分布**

市内 ; こしき岩  
県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、松浦市、平戸市、大村市

**摘要**

長崎市内ではきわめて稀。幼虫の食草はミヤコグサ (マメ科)。



峰 正隆氏 写真提供

**ツマグロキチョウ** (シロチョウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Eurema laeta* Boisduval

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

**分布**

市内 ; こしき岩、野母崎樺島町  
県内 ; 対馬市、大村市、五島市、諫早市など

**摘要**

幼虫の食草はカワラケツメイ (マメ科)、長崎市では稀。



峰 正隆氏 写真提供

**オオチャバネセセリ** (セセリチョウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Polytremis pellucida* (Murray)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内2ヶ所  
県内 ; 多良山系、島原半島、佐世保市、対馬市、壱岐市

**摘要**

長崎市内ではきわめて稀。最近、記録が途絶えた状態が続いて  
いる。生息地では林縁などのやや開けた場所でアザミなどに訪花して  
いる個体を見かけることがある。幼虫の食草はタケ、ササ類。

情報収集中

### (3) 昆虫類

#### ヒメキマダラセセリ (セセリチョウ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Ochlodes ochraceus ochraceus* (Bremer)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 岩屋山  
県内 ; 雲仙市、多良山系

##### 摘要

長崎市内では稀。岩屋山で得られた1例のみである。生息地では林縁や河川敷などのやや開けた場所で訪花している個体をよくみかける。幼虫の食草はイネ科やカヤツリグサ科。



峰 正隆氏 写真提供

#### ミヤマセセリ (セセリチョウ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Erynnis montanus* (Bremer)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内12ヶ所  
県内 ; 対馬市、佐世保市、大村市、諫早市、西海市

##### 摘要

長崎市周辺の雑木林に生息。少ない。県内では1990年代以降記録がないようである。市内ではクヌギから卵と幼虫が確認された記録が残されている。

情報収集中

#### ヒオドシチョウ (タテハチョウ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Nymphalis xanthomelas japonica* Stichel

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 岩屋山、矢上普賢岳  
県内 ; 平戸市、佐世保市、東彼杵町、島原市、多良岳など

##### 摘要

長崎市では岩屋山で記録があるが稀。成虫はアザミの花から吸蜜。幼虫の食草はヤナギ、エノキ。



峰 正隆氏 写真提供

#### オジロサナエ (サナエトンボ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

*Stylogomphus suzukii* (Oguma)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 池田川、浦上川、手熊川、旧外海町河川、旧琴海町河川など  
県内 ; 諫早市、佐世保市、五島市など

##### 摘要

山地の小さな溪流などに生息。成虫は夏季に出現。市内では、多くの河川で幼虫が確認されており、浦上川でも犬継あたりから上流で見ることができる。成虫の目撃例は少ないものの、各地で見つかる可能性がある。



中田 昭義氏 写真提供

**チョウトンボ** (トンボ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Ryothemis fuliginosa* Selys

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 川原大池、黒崎永田湿地自然公園  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、西海市、佐世保市、諫早市など

**摘要**

挺水植物などが見られる平地の池に生息。長崎市では川原大池に多産。



中田 昭義氏 写真提供

**マルタンヤンマ** (ヤンマ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

*Anaciaesca maltini* (Selys)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 黒崎永田湿地自然公園、旧長崎市  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、西海市、佐世保市など

**摘要**

黒崎永田湿地自然公園に多産。夕方より飛翔する。平地や丘陵地にある浮草などが繁茂する溜池などに生息するが、市内では局地的である。



中田 昭義氏 写真提供

**ブドウトラカミキリ** (カミキリムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Xylotrechus pyrrhoderus pyrrhoderus* Bates

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧長崎市(原記載)、旧野母崎町  
 県内 ; 対馬市、島原市、雲仙市

**摘要**

幼虫はブドウ類の害虫として有名であるが、最近では駆除によって減少し、ほとんど見られなくなってしまった。山間に生えるノブドウやエビヅルなどでも発生するので、新たに発見される可能性も残されている。



深川 元太郎氏 写真提供

**ベーツヒラタカミキリ** (カミキリムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Eurypoda batesi* Gahan

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 滑石、岩屋山、諏訪公園、白木町、愛宕山、金比羅山、旧野母崎町  
 県内 ; 対馬市、新上五島町、平戸市、雲仙市

**摘要**

暖流の影響が比較的強い低地で見つかっている。6~8月にシイ類の古木や灯火に來たものが確認されている。市内ではシイ類の古木自体が少なく、本種の生息範囲も狭いものと思われる。



松尾 照男氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### ヨツボシカミキリ (カミキリムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Stenygrinum quadrinotatum* Bates

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 住吉町、一本木、三ツ山町、白木町、茂木町など  
県内 ; 対馬市、壱岐市、五島列島、多良岳など

##### 摘要

人家周辺の雑木林などの里山に生息する。クリやクヌギの花などに集まり、幼虫もクリの枯死部にみられる。クリに対する薬剤散布により減少してしまったものと思われる。

情報収集中

#### スジクワガタ (クワガタムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Dorcus striatipennis striatipennis* (Motschulsky)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、県民の森、岩屋山、帆陽岳、金比羅山、八郎岳など  
県内 ; 対馬市、多良岳、長与町、島原半島

##### 摘要

5~8月に山地のクヌギの樹液や灯火に来たものが得られている。市内では最近、記録が少なくなっているようであるが、少ないながらもまだ各地に生息しているようである。



松尾 照男氏 写真提供

#### ネプトクワガタ (クワガタムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Aegus laevicollis subnitidus* Waterhouse

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 岩屋山、岩瀬戸溪谷、金比羅山、烽火山、豊前坊など  
県内 ; 対馬市、五島列島、平戸市、佐世保市など

##### 摘要

低山地で樹液にきているものや歩行中の個体が見られている。対馬市では針葉樹のモミの樹液によく集まっている。市内でも各地で記録が残っているが、個体数は少ないようである。



松尾 照男氏 写真提供

#### アカマダラコガネ (コガネムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Poecilophilides rusticola rusticola* (Burmeister)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 西町、金比羅山、香焼町、旧野母崎町  
県内 ; 平戸市、多良岳、島原半島、五島市

##### 摘要

別名：アカマダラハナムグリ。低山地のクヌギの樹液などで確認されている。幼虫は、猛禽類の巣内の朽木で育つことが知られている。そのため、猛禽類の生息環境が整った環境を保つことが必要である。



深川 元太郎氏 写真提供



**アカマダラセンチコガネ** (コガネムシ科) **絶滅危惧 II 類(VU)***Notochodaeus maculatus maculatus* (Waterhouse)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧外海町、式見牧場、帆場岳、烽火山など  
 県内 ; 新上五島町、平戸市、多良岳、島原半島など

**摘要**

島原が原産地。4~10月の早朝や夕方に雑木林の林床近くを低飛行中の個体を見かけることがある。最近では生態学的な知見の蓄積等から採集方法が解り、市内を含め県内各地で記録されるようになっている。



深川 元太郎氏 写真提供

**ムネアカセンチコガネ** (コガネムシ科) **絶滅危惧 II 類(VU)***Bolbocerosoma nigroplagiatum* (Waterhouse)

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 式見牧場、浦上地区、金比羅山、白木町、竹の久保町  
 県内 ; 壱岐市、平戸市、多良岳、島原半島など

**摘要**

長崎が原産地である。主に低山地のシバ地、草原や牧場など開けた環境で見つかることが多い。市内ではこのような環境が減少しているものの、最近でもやや局所的ながら確認されている。



松尾 照男氏 写真提供

**ナガサキオチバゾウムシ** (ゾウムシ科) **絶滅危惧 II 類(VU)***Otibazo nagasakiensis* Morimoto

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧長崎市  
 県内 ; 男女群島

**摘要**

低山地にある樹林内の腐葉土の下に生息している。後翅が退化しているため飛ぶことができず、移動能力が低いいため、本類は国内各地で地理的分化が進んでいる状況である。市街地周辺の低山地からも確認されており、新たな産地が見つかる可能性も残されている。



松尾 照男氏 写真提供

**アオマダラタマムシ** (タマムシ科) **絶滅危惧 II 類(VU)***Nipponobuprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧長崎市  
 県内 ; 対馬市、多良岳、諫早市、島原市

**摘要**

タブノキ、エノキ、サクラなどの樹木から採集されている。特にこれらの大きな立ち枯れから発生することが知られていることから、大木が生育する樹林地の保護が必要な種である。



松尾 照男氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### クロマダラタマムシ (タマムシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Nipponobuprestis querceti* (E.Saunders)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 風頭山、金比羅山  
県内 ; 壱岐市

##### 摘要

5~7月に平地から低山地にあるエノキの大木やその枯材から発生することが知られている。市内では本種の記録がほとんどない上に、エノキの大木自体が少なく、市街化に伴い生息環境も狭くなっているものと考えられる。

情報収集中

#### コツバメ (シジミチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Callophrys ferrea ferrea* (Butler)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 四杖町など各地  
県内 ; 佐世保市、諫早市、島原市、雲仙市など

##### 摘要

幼虫の食草はネジキ。成虫は長崎市周辺部の雑木林に4~5月短期間に発生。個体数は少ない。



峰 正隆氏 写真提供

#### コチャバナセセリ (セセリチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Thoressa varia* (Murray)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧長崎市の2ヶ所  
県内 ; 平戸市、佐世保市、多良山系、雲仙市など

##### 摘要

幼虫の食草はウンゼンザサやメダケなどのササ類が主である。県内では標高差にあまり関係なく記録されているが、発生数は少ないようで、市内でも同様である。



峰 正隆氏 写真提供

#### ダイミョウセセリ (セセリチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Daimio tethys tethys* (Ménétrières)

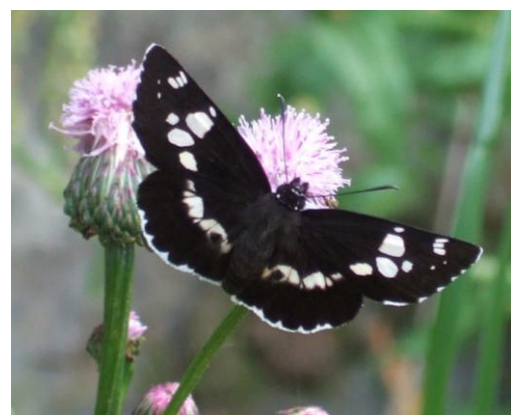
長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 向町など  
県内 ; 対馬市、大村市、諫早市、西海市、佐世保市など

##### 摘要

セセリチョウ科ではめずらしく翅を水平に開いて止まる習性がある。主に低山地から山地で主にみられる種であり、平地ではほとんど見ることができない。そのため、市内でも限られた場所で記録されている状況である。



峰 正隆氏 写真提供

**コジャノメ** (タテハチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Mycalesis francisca perdiccas* Hewitson

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各地  
 県内 ; 五島列島、平戸市、県本土各地

**摘要**

成虫はクヌギなどの樹液を吸う。幼虫の食草はイネ科植物。4~8月まで発生。樹林内や日陰で見かける。ヒメウラナミジャノメやヒメジャノメより少ない。

情報収集中

**ウラギンヒョウモン** (タテハチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Fabriciana adippe* Linnaeus

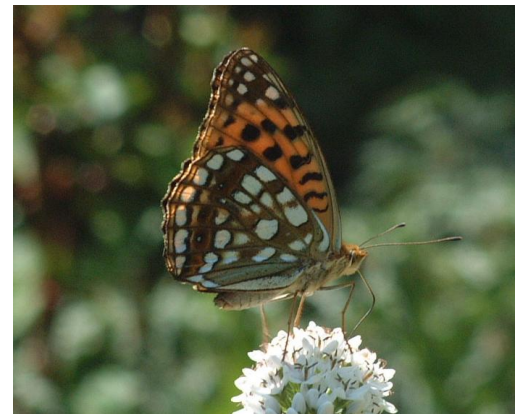
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 金比羅山、こしき岩  
 県内 ; 佐世保市、雲仙市、多良山系

**摘要**

長崎市や周辺部で見かける。アザミやヤブカラシなどの花を訪花。近年少なくなった。



峰 正隆氏 写真提供

**オオウラギンスジヒョウモン** (タテハチョウ科) 絶滅危惧 II 類(VU)*Fabriciana nerippe* C. et R. Ferder

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 岩屋山  
 県内 ; 県民の森

**摘要**

長崎市内では岩屋山、県民の森などで稀に採集されている。成虫は6月ごろ発生し、幼虫の食草はスミレ類である。近年、草原が減少しており、それとともに本種の発生も著しく減少している。本種は、この30年間県内で記録されていない。

情報収集中

**クモガタヒョウモン** (タテハチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Nephegynnis anadyomene* Butler

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 岩屋山など  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、佐世保市

**摘要**

成虫は5月から出現。草原で見かける。県内では1970年頃までは島嶼で見られていたようであるが、県本土では希に記録されるのみであった。その後は、県内各所で希種となっている。市内では1967年以降確認されていないようである。

情報収集中

### (3) 昆虫類

#### コムラサキ (タテハチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Apatura metis substituta* Butler

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、旧三和町、旧長崎市  
県内 ; 平戸市、松浦市、佐世保市、大村市、諫早市

##### 摘要

長崎市内でも成虫をときどき見るが周辺地域からの飛来と推定される。幼虫の食草はヤナギ。市街地で成虫を稀に見るが成虫のえさとなる樹液を供給する木がないので定着しにくい。



峰 正隆氏 写真提供

#### ミドリヒョウモン (タテハチョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Argynnis paphia tsushimana* Fruhstorfer

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、旧長崎市  
県内 ; 佐世保市、西海市、川棚町、諫早市、大村市など

##### 摘要

幼虫の食草はスミレ類。成虫は6月頃から見られるが、夏場は一時休眠する。林縁周辺にある花でよく吸蜜する。



峰 正隆氏 写真提供

#### コフキヒメイトンボ (イトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Agriocnemis femina oryzae* Liefstinck

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 三重地区、黒崎永田湿地自然公園  
県内 ; 五島列島、佐世保市

##### 摘要

長崎市内では池、川べり、休耕田などに生息。多くない。



中田 昭義氏 写真提供

#### タカネトンボ (エソトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Somatochlora uchidai* Foerster

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 金比羅山  
県内 ; 佐世保市、西海市、長与町、対馬市、松浦市など

##### 摘要

長崎市金比羅山では人工の水槽からも発生。少ないトンボである。



中田 昭義氏 写真提供

**オニヤンマ** (オニヤンマ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Anotogaster sieboldii* (Selys)

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内	;	市内各所
県内	;	県内各所

**摘要**

樹林に囲まれた小さな流れや樹林で見かける。学名にシーボルトの名前を採用されたトンボで長崎と関係が深い。



中田 昭義氏 写真提供

**ミヤマカワトンボ** (カワトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Calopteryx cornelia* Selys

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内	;	戸根原川、戸根川、浦上川、相川川、神浦川など市内各所
県内	;	県内各所

**摘要**

県内に生息するカワトンボ科の種の中で河川の上流側に生息している。市内も各地の河川上流部にみられるが、市街地を中心に減少しているようである。山地の河川改修により絶滅の危険がある。



中田 昭義氏 写真提供

**コオニヤンマ** (サナエトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Sieboldius albardae* Selys

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内	;	市内各所
県内	;	県内各所

**摘要**

川の源流部に生息。学名にシーボルトの名前を採用されたトンボで長崎と関係が深い。



中田 昭義氏 写真提供

**ヒメクロサナエ** (サナエトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Lanthus fujiacus* Fraser

長崎県カテゴリー	;	絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内	;	旧長崎市
県内	;	壱岐市

**摘要**

河川の樹林に囲まれた上流部に生息する。幼虫も同所にある落葉が堆積しているような川底に潜っている。河川の平坦化や周辺樹林の伐採などによって減少しているようである。



中田 昭義氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### ナツアカネ (トンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Sympetrum darwinianum* (Selys)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内各所  
県内 ; 県内各所

##### 摘要

平地から低山地のため池などから発生するが長崎市内では少ない。特に挺水植物が繁茂するような環境で見つかっている。



中田 昭義氏 写真提供

#### ヒメアカネ (トンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Sympetrum parvulum* (Barteneff)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧長崎市  
県内 ; 平戸市、松浦市、諫早市、島原半島など

##### 摘要

平地から低山地のヨシなどの水生植物が繁茂する湿地や休耕田などに生息している。放棄水田が近年増えてきており、市内でも新たな産地が見つかる可能性がある。



中田 昭義氏 写真提供

#### ムカシトンボ (ムカシトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Epiophlebia supertes* (Selys)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 宮摺町、神浦川、手崎川  
県内 ; 多良岳、島原半島、西海市

##### 摘要

成虫は、4~5月頃、山地の渓流域で見ることができる。幼虫は、河川の上中流部にある流れがある川底の石の間や下に潜んでおり、成虫になるまで5年ほどかかる。市内ではそのような環境は少なく、本種がみられる場所はやや局所的である。



中田 昭義氏 写真提供

#### コヤマトンボ (ヤマトンボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Macromia amphigena amphigena* Selys

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内各地  
県内 ; 県内各地

##### 摘要

幼虫は、河川の上流~下流の植物が繁茂した川岸や落葉が堆積した淀みなどに生息している。市内でも河川各所に生息し、決してめずらしくないが、市街地を中心に少なくなっているようである。



中田 昭義氏 写真提供

**ネアカヨシヤンマ** (ヤンマ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Aeschnophlebia anisoptera* Selys

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

**分布**

市内 ; 黒崎永田湿地自然公園、旧長崎市  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、佐世保市

**摘要**

ガマやヨシが繁茂した平地の溜池や湿地に生息している。市内ではそのような環境自体が少なく、したがって本種も少ない状況となっている。



中田 昭義氏 写真提供

**ミルンヤンマ** (ヤンマ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

*Planaeschna milnei* (Selys)

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 神浦川、永田川、池田川、中島川、浦上川など  
 県内 ; 県内各地

**摘要**

長崎市内では稲佐山などで時折成虫が見つかる。幼虫は、神浦川、村松川、永田川、出津川、八郎川などの河川の上・中流部で見つかっており、市内に広く分布している可能性がある。



中田 昭義氏 写真提供

**エゾカタビロオサムシ** (オサムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Campalita chinense* (Kirby)

長崎県カテゴリー ; —  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 稲佐山  
 県内 ; 平戸市、多良山系、島原半島、五島列島など

**摘要**

県内に生息するオサムシ亜科の中で唯一後翅が発達し、飛ぶことができる種である。平地や草地などの環境で見かけることが多く、蛾類の幼虫を主に食べている。市内では市街地周辺の低山地などで見つかっている。



松尾 照男氏 写真提供

**マイマイカブリ** (オサムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Damaster blaptoides blaptoides* Kollar

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各地  
 県内 ; 平戸市、県本土各地、五島列島

**摘要**

大きさが5cm程になり、カタツムリ類などの動物質を中心に、クヌギの樹液や落下した果実なども摂食する。本種は後翅が退化しているため飛ぶことができない。市内では島や半島の一部を除き、各地で見つかっているが、近年減少しているようである。



松尾 照男氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### ベニバハナカミキリ (カミキリムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Paranaspia anaspoides* (Bates)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 風頭山  
県内 ; 対馬市、平戸市、多良岳、島原半島

##### 摘要

成虫は6~7月にクリやノリウツギなどの花を訪れるほか、山頂の吹き上げや広葉樹の樹洞の中で見ついている。近年、市内では見つからない。(野田正美)



深川 元太郎氏 写真提供

#### トゲムネミヤマカミキリ (カミキリムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Trirachys orientalis* Hope

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 鍋冠山  
県内 ; 島原半島

##### 摘要

古い桜の幹に見られ、幼虫もその幹の中で育つ。長崎市内では稀。帰化昆虫。



松尾 照男氏 写真提供

#### コナガキマワリ (クチキムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Eucrossoscelis araneiformis* (Allard)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 彦山、金比羅山、烽火山  
県内 ; 島原半島、多良山系、佐世保市など

##### 摘要

別名オオヒョウタンキマワリ。成虫は6月頃に立ち枯れなどで見ついている。市内でも市街地周辺の低山地の広葉樹林内で確認されているが少ない。



深川 元太郎氏 写真提供

#### チビクワガタ (クワガタムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Figulus binodulus* Waterhouse

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 金比羅山、諏訪公園、長崎大学(経済学部)  
県内 ; 長崎市のみ

##### 摘要

冬季にケヤキやサクラの倒木や樹皮下などから見ついている。市街地とその周辺からしか見つからないので、移入種の可能性もある。なお、最近の確認されていない。



深川 元太郎氏 写真提供



**ヒラタクワガタ** (クワガタムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Dorcus titanus pilifer* Snellen van Vollenhoven

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各所  
県内 ; 県内各所

**摘要**

平地から低山地のクヌギ、タブノキ、アカメガシワなどの樹液で確認される。近年は、小型個体が多く、少なくなっている印象を受ける。対馬や五島列島など島嶼のものは亜種として扱われることもある。



深川 元太郎氏 写真提供

**カブトムシ** (コガネムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Trypoxylus dichotomus septentrionalis* (Kono)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各所  
県内 ; 県内各所

**摘要**

平地から山地のクヌギなどの樹液で7~8月に確認される。以前は街灯などによく飛来していた個体をよく目にしていたが、最近では少なくなった印象を受ける。



松尾 照男氏 写真提供

**ヤマトタマムシ** (タマムシ科)

準絶滅危惧(NT)

*Chrysochroa fulgidissima* (Schönherr)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各所  
県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市、松浦市、佐世保市など

**摘要**

平地から山地のエノキ、ケヤキ、サクラなどの大木や古木で見つかっている。市街地にもこれらの木が残っている場所では、飛来した個体などを見かけることがあるが、最近では少なくなっているようである。



松尾 照男氏 写真提供

**ゲンジボタル** (ホタル科)

準絶滅危惧(NT)

*Luciola cruciata* Motschulsky

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 市内各所  
県内 ; 県内各所

**摘要**

河川の上中流部の流れがある場所に生息している。市内では各所で見つかっているが、いずれの場所でも発生数は多くなく、夜間でも街灯などで周囲が明るい場所では見ることができない。幼虫はカワニナやイシマキガイを食べる。



深川 元太郎氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### ヘイケボタル (ホタル科)

準絶滅危惧(NT)

*Luciola lateralis* Motschulsky

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 黒崎永田湿地自然公園、相川湿地  
県内 ; 県内各地

##### 摘要

休耕田や湿地で見られる。ゲンジボタルより少ない。幼虫は、主に止水域に生息する巻貝のモノアラガイ類を食べる。市内の生息地では多数見かけることもあるが、生息地が局地的である。

情報収集中

#### マダラゴキブリ (ゴキブリ科)

準絶滅危惧(NT)

*Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ;  
県内 ; 諫早市、長与町

##### 摘要

野生のゴキブリで人家には来ない。湿地の石の下や落ち葉下に見られる。



橋口 克伸氏 写真提供

#### ミズイロオナガシジミ (シジミチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Antigius attilia attilia* (Bremer)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; こしき岩、金比羅山、市民の森、鍋冠山  
県内 ; 対馬市、大村市、諫早市、島原市、平戸市、長与町

##### 摘要

平地から山地のクヌギなどの雑木林に生息している。成虫はクリの花などに訪花するのが観察されているが、夕方に活発に活動することも多い。市内では産地が限られており、年によって確認できない地域もある。



峰 正隆氏 写真提供

#### ツマキチョウ (シロチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Anthocharis scolymus scolymus* (Butler)

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 西山地区、弥生町  
県内 ; 県内各地

##### 摘要

成虫は、春季にのみ発生する。平地から低山地の田畑の畦やその周辺などの里山的な環境でよく見られた種であったが、市内では見かけることが少なくなっているようである。幼虫の食草は、タネツケバナなどのアブラナ科の植物。



深川 元太郎氏 写真提供

**ホソバセセリ** (セセリチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Isoteinon lamprospilus lamprospilus* C. et R. Felder

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 旧外海町、旧長崎市  
 県内 ; 対馬市、平戸市、松浦市、佐世保市、諫早市、大村市など

**摘要**

低山地の林縁や溪流沿いで吸蜜する個体や地面で吸水する個体を見かけることが多い。幼虫は、ススキなどやイネ科植物を主に食べる。市内では、たまに記録される程度で少ない状況となっている。



峰 正隆氏 写真提供

**ウラギンスジヒョウモン** (タテハチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Argyronome laodice japonica* (Menetries)

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)  
 環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

**分布**

市内 ; 金比羅山など旧長崎市、旧琴海町  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、平戸市、佐世保市、雲仙市、多良山系など

**摘要**

低山地の草原や田畑周辺の草地などで吸蜜する姿を見かけることが多い。幼虫の食草はスミレ類。市内では草原など開けた環境が少なくなっており、本種も最近では記録が少ない。



峰 正隆氏 写真提供

**ウラナミジャノメ** (タテハチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Ypthima motschulskyi nipponica*. Murayama

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

**分布**

市内 ; 野母崎樺島町、権現山、稲佐山、立山町、旧外海町  
 県内 ; 対馬市、壱岐市、大村市、諫早市、五島市など

**摘要**

低山地の雑木林やその林縁の草地などに見られるが、やや局所的である。市内でも各地に記録があるものの、近縁のヒメウラナミジャノメと比べると格段に少ない。



峰 正隆氏 写真提供

**スミナガシ** (タテハチョウ科)

準絶滅危惧(NT)

*Dichorragia nesimachus nesiotus* Fruhstorfer

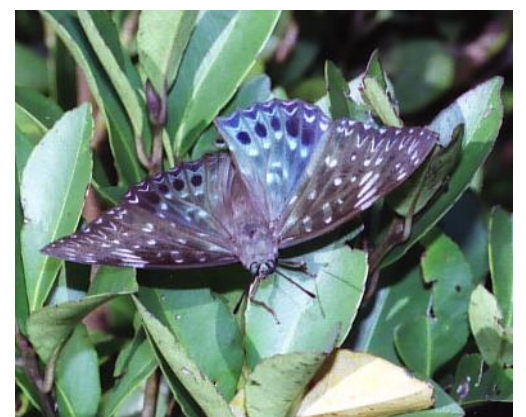
長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
 環境省カテゴリー ; —

**分布**

市内 ; 金比羅山、岩屋山、弥生町、旧野母崎町、旧琴海町など  
 県内 ; 県内各地

**摘要**

低山地の雑木林やその周辺部で見つかる事が多い。成虫は、クヌギやシイ類の樹液や獣糞などを吸汁する。市内では記録が各地に残されているが、最近の記録は少ない状況となっている。



深川 元太郎氏 写真提供

### (3) 昆虫類

#### メスグロヒョウモン (タテハチョウ科) 準絶滅危惧(NT)

*Damora sagana liane* (Fruhstorfer)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、旧野母崎町、江平町、西山町、金比羅山など  
県内 ; 平戸市、松浦市、佐世保市、多良山系、西海市、対馬市など

##### 摘要

平地から低山地の雑木林の林縁などで見かけることが多い。幼虫の食草はスミレ類である。市内では最近でも各地で確認されているが、以前に比べ少なくなっているようである。



峰 正隆氏 写真提供

#### ベニイトンボ (イトンボ科) 準絶滅危惧(NT)

*Ceriatagrion nipponicum* Asahina

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

##### 分布

市内 ; 旧琴海町、旧野母崎町、川原大池、中尾川下流など  
県内 ; 五島市、松浦市、平戸市、佐世保市、西海市など

##### 摘要

平地や低山地にある挺水植物が繁茂した溜池や湿地などに生息している。市内では、市街地に近い中島川上流の西山ダムなどでも確認されているものの、決して多くない。



中田 昭義氏 写真提供

#### アサヒナカワトンボ (カワトンボ科) 準絶滅危惧(NT)

*Mnais pruinosa* Selys

長崎県カテゴリー ; —  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 市内各地  
県内 ; 県内各地

##### 摘要

以前はニシカワトンボと呼ばれていた。河川の上中流域の清流に生息する。市内河川の下流側には同科のハグロトンボ、上流側にはミヤマカワトンボが見られることが多い。市内でも各地に生息するが、河川内でも生息範囲が狭まっているようである。



中田 昭義氏 写真提供

#### マイコアカネ (トンボ科) 準絶滅危惧(NT)

*Sympetrum kunckeli* (Selys)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー ; —

##### 分布

市内 ; 神ノ島町、大川川、八郎川、西海川、長浦川  
県内 ; 佐々町、壱岐市など

##### 摘要

平地や低山地の挺水植物が繁茂した溜池やその周辺で見つかる事が多い。市内の生息地は局地的で、個体数も決して多くない。



中田 昭義氏 写真提供

**ハマスズ** (コオロギ科)

準絶滅危惧(NT)

*Dianemobius csikii* (Bolivar)

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ;  
 県内 ;

**摘要**

成虫は1cm弱。海浜植物が生育するような自然度が高い砂浜に生息している。市内には砂浜が長崎半島などに存在するが、海浜植物が主に生育する砂浜の陸側を護岸されている場所が多く、生息環境が悪化している場所が多い。

情報収集中

**シラホシハナムグリ** (コガネムシ科)

情報不足(DD)

*Protaetia brevitarsis brevitarsis* (Lewis)

長崎県カテゴリー	;	—
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 住吉町、金比羅山、伊王島町など  
 県内 ; 壱岐市、五島列島、多良岳、西海市、島原半島など

**摘要**

6~8月頃に平地から低山地のクヌギの樹液や果実に飛来したものが確認されている。市内では近年でも伊王島のクヌギで確認されているものの、近縁のシロテンハナムグリに比べ格段に少ない。



深川 元太郎氏 写真提供

**シロスジコガネ** (コガネムシ科)

情報不足(DD)

*Polyphylla albolineata* (Motschulsky)

長崎県カテゴリー	;	準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 高島町  
 県内 ; 壱岐市、五島列島、島原半島

**摘要**

県内では、海岸近くにある規模が大きい松林で見ついている。市内でも過去に記録が残されているが、市内には松林がほとんど残されていないこと、近年の記録もほとんどなく、近年の生息状況をつかめていない。



松尾 照男氏 写真提供

**チビカクマグソコガネ** (コガネムシ科)

情報不足(DD)

*Rhyparus kitanoi kitanoi* Y.Miyake

長崎県カテゴリー	;	絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー	;	—

**分布**

市内 ; 白木町、茂木町  
 県内 ; 男女群島、長与町、島原半島

**摘要**

別名キュウシュウカクマグソコガネ。海岸から低山地で6~8月に灯火採集で得られているが、局地的で生態も不明な点が多い。



深川 元太郎氏 写真提供

### (3) 昆虫類